

松阪市総合計画（H28～H31）施策の進捗度評価

令和2年度 部局長の実行宣言（抜粋）より

「総合計画」関係施策の進捗度 4年間の増減・進捗目標に対する評価実績

評価	S	A	B	C	D	E	－	総数
該当数	46	5	6	6	10	35	1	109
割合	42.2%	4.6%	5.5%	5.5%	9.2%	32.1%	0.9%	100.0%

「総合計画」関係施策の進捗度 令和元年度目標に対する評価実績

評価	S	A	B	C	D	E	－	総数
該当数	46	23	23	3	7	6	1	109
割合	42.2%	21.1%	21.1%	2.8%	6.4%	5.5%	0.9%	100.0%

評価基準… S（100%以上）、A（90～99%）、B（70～89%）、C（50～69%）

D（30～49%）、E（29%以下）、－（評価対象外※実績未測定を含む）

政策1 輝く子どもたち

施策番号		施策名						
1		－ ① 子育て支援の推進						
評価指標①	指標名	乳児家庭全戸訪問実施率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	S	1.4	%	S
	実績	93.6	%	98.7		%	5.1	
	進捗度の評価							
	生後4か月未満時のいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞き情報提供を行うとともに、児の発育状況や保護者の心身の状況等把握し、支援を行いました。支援の必要な家庭は継続し支援を行ない、未訪問家庭には電話や面接、健診等の機会に全数把握に努めました。							
評価指標②	指標名	児童虐待件数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	0	件	E	-48	件	E
	実績	48	件	96		件	48	
	進捗度の評価							
	児童虐待件数は国・県とも年々増加しており、松阪市においても96件と増加しましたが、児童虐待防止の啓発活動やマスコミによる事件の報道等により市民の児童虐待問題に対する意識が高まり、潜在的な児童虐待の予防や早期発見・早期対応に繋がった側面もあると考えられます。松阪市は令和2年1月1日に「松阪市子ども家庭支援総合センター」を設置したことから、今まで以上に児童に対する途切れない支援・関係機関との連携調整等に努めていきます。							

評価指標③	指標名	松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合【健康福祉部】						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	S	95.0	%	S
	実績	-	95.8	%		95.8	%	
	進捗度の評価							
3歳児健診時の聞き取りにおいて、松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者は95.8%でした。目標は達成していますが3年間微減しています。子どもや保護者のさまざまな悩みや不安を相談できる体制づくりや、親子が過ごせる居場所を充実し、市全体で子どもの健やかな成長を見守り、子育て家庭を孤立させないよう支える環境づくりを進めていきます。								
評価指標③	指標名	松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合【教育委員会】						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	S	95.0	%	S
	実績	-	95.8	%		95.8	%	
	進捗度の評価							
放課後児童クラブの運営を受託する社会福祉法人への働きかけを行い、保護者の負担軽減を図りました。								
施策番号		施策名						
1 - ②		未就学児への支援						
評価指標①	指標名	保育園の待機児童数（10月1日国基準）						
	年度	平成27年度(H28)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	0	人	E	-48	人	E
	実績	48	117	人		69	人	
	進捗度の評価							
国基準による待機者が増加し、4月の国基準においても待機者が出ることとなりました。これは、保育士の配置人員数に基づき入園者数が決まることが要因で、保育士不足が顕著に表れた結果となりました。今後、保育士をいかに確保するかが大きな課題であります。								
評価指標②	指標名	幼稚園の3歳児保育実施園数						
	年度	平成27年度(H28)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	14	園	S	2	園	S
	実績	12	18	園		6	園	
	進捗度の評価							
平成31年4月1日から3歳児保育を実施していなかった5園が同時に開始し、全ての園で3歳児保育を実施することができました。また、給食も全年齢、全園で実施することとなり、幼稚園の未就学児の受け入れ体制を整えることができ、子育て世代の支援をより一層図ることができました。								

施策番号		施策名				
1　－　③		学校教育の充実				
評価指標①	指標名	松阪市標準学力検査における標準スコアの平均				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	50.0	A	2.4	D
	実績	47.6	48.5		0.9	
	進捗度の評価					
	子どもたちに未来を切り拓く力を育むために、指導主事が行内研修に参加し、授業改善等の指導助言を行ったことにより、全国学力学習状況調査において、平均正答率が小学校では5年連続全国平均を上回り、中学校でも全国との差が最も縮まりました。					
評価指標②	指標名	授業以外で1日30分以上読書をしている割合				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	小学校38.0% 中学校31.0%	B	小学校2.2% 中学校4.0%	D
	実績	小学校35.8% 中学校27.0%	小学校37.2% 中学校23.3%		小学校1.4% 中学校-3.7%	
	進捗度の評価					
	生活習慣の確立への取組の一つとして、「本居宣長さんの5つのチャレンジ」のリーフレットを活用し、各家庭で、読書する時間とともに、寝る時間、学習する時間の3つの時間を決めて、チャレンジを進めています。					
評価指標③	指標名	学級満足度尺度調査（Q-U）の満足度				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	65.0　%	A	3.6　%	E
	実績	61.4　%	59.3　%		-2.1　%	
	進捗度の評価					
	子どもたちが主体的に授業に参加し、安心して学校生活を送るためには、満足型の学級集団であることが欠かせない。1回目の結果を踏まえ、ルールとリレーションについて適切な指導と助言を行うことにより、小中学校とも全国平均を上回りました。令和元年度に、Q-U調査の満足度等に係る基準値の変更があったため、実績の数値が下がっています。					
評価指標④	指標名	学校給食における地場産物使用割合（パン、米、牛乳、卵を除く）				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	35.0　%	B	3.8　%	E
	実績	31.2　%	28.9　%		-2.3　%	
	進捗度の評価					
	食材調達方法の見直しや、市内・県内産の農産物を使用した新メニューの開発を行い、地場産物使用割合を高める取り組みを行っていますが、天候による生産量及び価格の変動などから目標量を確保できない年もあり、昨年は、年を通して気温の高い状態が続き、台風の接近通過や夏から秋にかけて記録的な大雨となり、県内産のものだけを調達することが困難な場合があり、地場産物使用割合が28.9%に留まりました。					

施策番号		施策名						
1 - ④		青少年の健全育成						
評価指標①	指標名	「青少年育成のつどい」講演会の参加者満足度						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	90.0	%	A	2.0	%	E
	実績	88.0	%	88.0		%	0.0	
	進捗度の評価							
	目標達成のため青少年健全育成会などの関係者と連携を強め、講演会の講師選定についても幅広い関係者の意見を聞くことで、長年高い水準での満足度を維持することが出来ていると考えています。							
評価指標②	指標名	青少年補導者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	450	人	S	-320	人	S
	実績	770	人	431		人	-339	
	進捗度の評価							
	インターネット環境の普及や青少年の活動環境の変化により、青少年に対する声掛けや補導対象の人数は平成27年度と比較して減少しています。							
しかしながら、ここ数年はほぼ横ばい状況であり、地道なこのような活動は青少年の健全育成には必要であると考えています。								
施策番号		施策名						
1 - ⑤		人権教育の推進						
評価指標①	指標名	人権教育研修講座参加者の満足度						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	A	3.0	%	C
	実績	92.0	%	94.0		%	2.0	
	進捗度の評価							
	人権教育ネットワーク推進事業として、保育園・幼稚園・小学校・中学校の連携や地域との連携を深めることで、各園・学校と地域が人権教育の取組を充実させ、児童生徒の人権意識の向上を図っています。活動指標を変更します。							
評価指標②	指標名	「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	77.0	%	S	4.0	%	S
	実績	73.0	%	77.0		%	4.0	
	進捗度の評価							
	児童生徒の自尊感情や自己肯定感を高めるために、あらゆる機会をとらえて仲間から認められている、また、最後までやり抜くことで達成感を感じさせる取組を行ったことにより、全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙においても、自尊感情や達成感が全国平均を上回りました。							

評価指標③	指標名	外国人生徒の就職・高校進学率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	100.0	%	A	4.0 %
	実績	96.0 %	94.0	%	A	-2.0 %
	進捗度の評価					
	今後も外国人児童生徒が増えていくことが予想されます。そのため、令和2年度から指標を「進学率」から「就業率」に変更し、松阪に來ているすべての外国人児童生徒が学校に就学し、将来の夢や目標を持って学校生活が送れるよう支援に努めます。					

政策2 いつまでもいきいきと

施策番号		施策名				
2	ー ①	健康づくりの推進				
評価指標①	指標名	乳がん検診受診率（40～69歳）				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	23.0	%	B	3.1 %
	実績	19.9 %	17.0	%	B	-2.9 %
	進捗度の評価					
	乳がん検診（マンモグラフィ）受診率は17.0%でした。4年間乳がん検診受診率は低下しており、受診率向上の対策強化が課題となっています。がん検診受診行動への関心を高めるため「松阪市健康マイレージ事業」を継続実施するとともに、がん検診の意義及び必要性の啓発や、分かりやすく受けやすい検診体制の構築が必要です。					
評価指標②	指標名	虫歯のない3歳児の割合				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	83.0	%	S	3.0 %
	実績	80.0 %	87.2	%	S	7.2 %
	進捗度の評価					
	むし歯のない3歳児の割合は、87.2%と年々増加し、改善されています。平成27年4月に「松阪市歯と口腔の健康づくり条例」を施行、平成28年3月に「松阪市歯と口腔の健康づくり基本計画」を策定しました。フッ化物洗口事業を保育園・幼稚園・小学校で推進し、関係機関が歯と口腔の健康づくりに取り組んだ結果、幼児期において効果が得られており、今後も事業を推進していきます。					
評価指標③	指標名	健康だと思っている市民の割合				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	80.0	%	A	5.3 %
	実績	74.7 %	78.4	%	A	3.7 %
	進捗度の評価					
	令和元年度実施の「松阪市市民意識調査」において、自身の健康状態をどのように感じているかに、「健康だと思う・どちらかという健康だと思う」と答えた市民の割合は78.4%でした。市民一人ひとりが自分や家族の「健康」を大切にし、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、関係機関・団体と相互に関わりながら市民の健康づくりを推進していきます。					

施策番号		施策名						
2 - ②		生涯スポーツの推進						
評価指標①	指標名	松阪シティマラソン参加者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	3,500 人	S	975 人	S		
	実績	2,525 人	4,339 人		1,814 人			
	進捗度の評価							
	松阪シティマラソンは、令和2年度から三重県で唯一となるフルマラソン「みえ松阪マラソン」に一新することから第15回大会をファイナルと銘打ち4,500人定員で募集を行い4,339人の参加申込を得ることができました。残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大の影響から開催中止となりましたが、「みえ松阪マラソン」の開催成功に向けた取組となるとともにランニングを通じたスポーツ振興や市民の健康づくりにつながっています。							
評価指標②	指標名	公共スポーツ施設を利用している市民の割合						
	年度	平成27年度(H26)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	25.0 %	D	10.1 %	E		
	実績	14.9 %	11.5 %		-3.4 %			
	進捗度の評価							
	目標の5割以下でD評価ですが、平成29年度の実績10.9%からわずかであるが2.5ポイント上がりました。市民が運動やスポーツをするきっかけづくりとして、市長杯スポーツ大会やみえ松阪マラソン等の取組みを進めることで、公共スポーツ施設の利用につなげていきます。							
評価指標③	指標名	市長杯スポーツ大会の参加者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	4,000 人	B	2,793 人	B		
	実績	1,207 人	3,595 人		2,388 人			
	進捗度の評価							
	市長杯スポーツ大会は、平成元年度も新たにフットサル、カヌーなど2種目を追加し、21種目23大会（1種目・1大会中止）を開催し、市民のスポーツへの参加意欲の向上やスポーツ振興、健康増進につながっています。							
施策番号		施策名						
2 - ③		救急医療体制の確保						
評価指標①	指標名	医療施設、救急医療が整っていると感じる市民の割合 【健康福祉部】						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	30.0 %	B	2.8 %	E		
	実績	27.2 %	24.6 %		-2.6 %			
	進捗度の評価							
	令和元年度実施の「松阪市市民意識調査」において、医療施設、救急医療が整っていると感じる市民は24.6%でした。市民が安心して生活できるよう、一次・二次救急体制の維持を図っていくことが重要です。							

評価指標①	指標名	医療施設、救急医療が整っていると感じる市民の割合【市民病院】				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	30.0 %	B	2.8 %	E
	実績	27.2 %	24.6 %		-2.6 %	
	進捗度の評価					

本市の二次救急医療については、休日・夜間は3基幹病院が輪番体制を構築しています。平日・日勤帯は、3基幹病院を中心に受入体制を強化しているところです。今後は、診療科の充実、医療機器の更新等に取り組み、より質の高い医療の提供に努めます。

評価指標②	指標名	患者アンケートで「満足」と答えた患者の割合				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	95.0 %	S	1.2 %	S
	実績	93.8 %	96.1 %		2.3 %	
	進捗度の評価					

患者様からのご意見等については、患者及びその家族等に対しサービスの向上を図るため、院内で組織する患者サービス委員会（院長、副院長、及び各診療部からの代表者で構成）を月1回開催・審議しています。また、職員を対象とした接遇研修等を実施しており、これらの取り組みの成果によるものと理解しています。

施策番号	施策名				
2 - ④	地域福祉・生活支援の充実				

評価指標①	指標名	地域福祉計画実践プランの取組を充実している地区				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	43 地区	S	7 地区	S
	実績	36 地区	43 地区		7 地区	
	進捗度の評価					

43地区において、住民の主体的な地域づくりにかわり、取り組みの充実を図ることができました。

評価指標②	指標名	生活困窮者自立相談新規受付件数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	36 件/月	B	6 件/月	E
	実績	30 件/月	30 件/月		0 件/月	
	進捗度の評価					

国の示す平均基準値を設定した目標を下回っています。現在、国は別の指標（K P I）に変更済のため、今後、市も新たな目標を設定していきます。また直近の全国平均では人口10万人あたり15.5件（平成30年度）であり、本市は全国平均を上回っています。

評価指標③	指標名	プラン(自立支援計画)作成件数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	18.0 件/月	D	14.5 件/月	E
	実績	3.5 件/月	5.8 件/月		2.3 件/月	
	進捗度の評価					

国の示す平均基準値を設定した目標をかなり下回っています。現在、国は別の指標（K P I）に変更済のため、今後、市も新たな目標を設定していきます。また直近の全国平均では人口10万人あたり5.0件（平成30年度）であり、本市は全国平均を若干下回っています。

評価指標④	指標名	就労支援対象者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	11.0	人/月	E	8.9	人/月	E
	実績	2.1	人/月	1.9		人/月	-0.2	
	進捗度の評価							
国の示す平均基準値を設定した目標をかなり下回っています。現在、国は別の指標（KPI）に変更済のため、今後、市も新たな目標を設定していきます。また直近の全国平均では人口10万人あたり2.2件（平成30年度）であり、本市は全国平均を下回っています。								
評価指標⑤	指標名	市営住宅応募率（応募者数／応募戸数）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	1.0	倍	S	-0.1	倍	S
	実績	1.1	倍	1.0		倍	-0.1	
	進捗度の評価							
入居希望者の全てが入居できるよう目標応募率を「1」としています。築年度が新しい城南団地や若葉団地は入居希望者は多く、それ以外の団地は、入居希望者は少ない状況です。そのため、これまでのニーズを分析し、団地・区分・戸数等を調整し公募することで、目標達成することが出来ました。								
施策番号		施策名						
2 - ⑤		高齢者福祉の推進						
評価指標①	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	26,000	人	A	7,473	人	A
	実績	18,527	人	25,709		人	7,182	
	進捗度の評価							
当市では平成20年より毎年継続的に認知症サポーターの養成をすすめ、認知症を正しく理解する市民を増やしてきました。対象は児童・生徒、一般市民、職場等、幅広く実施しています。 今後も認知症の正しい理解を啓発し、地域で暮らしている認知症の人やそのご家族の見守り活動が広がるよう、認知症等高齢者個人賠償保険制度の開始、安心見守り隊の活動支援、認知症初期集中支援チームによる早期訪問等、様々な支援を組み合わせながら、認知症になっても安心できる体制づくりを広げていきます。								
評価指標②	指標名	医療と介護の連携拠点の整備数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	1	か所	S	1	か所	S
	実績	0	か所	1		か所	1	
	進捗度の評価							
超高齢化がすすみ、医療的ニーズを抱えたまま地域で暮らし続ける要介護の人が増えていきます。このことから、医療と介護のサービスが切れ目なく提供できることを目指し、平成30年4月に「松阪地域在宅医療・介護連携拠点」を設置しました。なお、「拠点」には看護師と社会福祉士の専門職各1名を配置し、要介護高齢者に関わる医療・介護関係者のための相談窓口の開設と、専門職同士の情報共有がスムーズにできるよう資源の把握とICT活用システムの仕組みを整備しました。								

評価指標③	指標名	お年寄りが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりの市民満足度						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	3.10	/5	A	0.16	/5	E
	実績	2.94	/5	2.94		/5	0.00	
	進捗度の評価							
介護予防の推進、地域で支えるしくみづくり、認知症施策の充実、在宅医療と介護の連携推進、施設整備や適切な介護サービスの提供等に取り組みましたが実績は、市民満足度の変化はない結果となりました。今後も取組を進めるとともに情報発信についても強化していきます。								
施策番号		施策名						
2 - ⑥		障がい者福祉の推進						
評価指標①	指標名	グループホームの利用者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	150	人	B	26	人	E
	実績	124	人	131		人	7	
	進捗度の評価							
目標値を下回りましたが、定員数の制約があり、障がい者が地域で支援を受けながら自立した生活をするため居住の場の確保の充実に向けて、事業所に補助制度などを活用いただきながら引き続き施設整備を進めます。								
評価指標②	指標名	就労移行支援事業所利用者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	20	人	S	10	人	S
	実績	10	人	27		人	17	
	進捗度の評価							
目標を達成しましたが、障がい者が地域で自立した生活を送るために就労は極めて重要であり、一般就労へ向けた必要なスキルと適切な就労の場を探すための支援等を行う場として、より一層の利用が図られるよう取り組みます。								
評価指標③	指標名	手話奉仕員養成講座修了者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	60	人	B	60	人	B
	実績	0	人	48		人	48	
	進捗度の評価							
増加する手話通訳依頼に対して手話通訳者が不足しており、通訳者の確保につなげるため入門課程、基礎課程、ステップアップ講座をそれぞれ開催しています。目標を下回ったのは受講期間が長期に渡るため継続受講が困難なことが要因の一つですが、引き続き養成に努めます。								

政策3 活力ある産業

施策番号			施策名					
3　－　①			農業の振興					
評価指標①	指標名	認定農業者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	195	経営体	A	32	経営体	C
	実績	163	経営体	179		経営体	16	
	進捗度の評価							
	認定農業者数は、179経営体（目標195）にとどまり、目標に達しませんでした。地域農業を支える担い手の減少や、農業従事者の減少・高齢化等が進む中、次世代を担う認定農業者の育成、確保を目指します。							
評価指標②	指標名	人・農地プラン作成数(平坦地のみ)						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	70	集落	S	35	集落	S
	実績	35	集落	73		集落	38	
	進捗度の評価							
	国の方針変更に伴い令和元年度から人・農地プランの「実質化」が必須となりました。各集落の座談会に出向くなど周知を図った結果、目標を上回る73集落の作成に繋がりました。							
評価指標③	指標名	鳥獣による農作物被害額						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	10,903	千円	B	-2,726	千円	D
	実績	13,629	千円	12,407		千円	-1,222	
	進捗度の評価							
	令和元年度の農作物被害額は、目標には達しませんでした。前年度の12,849千円と比較すると442千円の減となっています。猟友会の協力による有害鳥獣捕獲数は、シカ、イノシシ、アライグマなど、それぞれ過去最多の捕獲頭数となりました。さらに、防護柵の設置などを推進し、農作物被害の軽減に努めます。							
評価指標④	指標名	茶防霜ファン改修基数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	70	基	S	70	基	S
	実績	-	基	70		基	70	
	進捗度の評価							
	国の補助事業により平成28年度、29年度の2カ年で実施した茶防霜ファン改修事業において、目標となる70基の改修は完了しました。							

施策番号		施策名					
3 - ②		松阪牛の振興					
評価指標①	指標名	松阪肉牛共進会の出品頭数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	50 頭	S		0 頭	S
	実績	50 頭	50 頭			0 頭	
	進捗度の評価						
令和元年度の松阪肉牛共進会は、第70回の節目となる記念大会として開催しました。予選会に出場した93頭の中から選出された50頭が本選に出場し、せり市では優秀賞一席の牛が2,600万円の高額で落札されました。							
評価指標②	指標名	特産松阪牛の出荷頭数割合					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	4.3 %	A		0.0 %	A
	実績	4.3 %	4.0 %			-0.3 %	
	進捗度の評価						
特産松阪牛の出荷頭数は、平成27年度が301頭、令和元年度が313頭で12頭の増となっています。松阪牛全体の出荷頭数は、平成27年度が7,078頭、令和元年度は7,894頭で816頭の増となっています。このことから、多頭肥育化が進んでいますが、特産松阪牛の出荷頭数については維持できていると捉えています。							
評価指標③	指標名	特産松阪牛の海外輸出頭数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	10 頭	E		5 頭	E
	実績	5 頭	0 頭			-5 頭	
	進捗度の評価						
PR輸出については、三重県と連携し、海外で開催される催事などでのPRを模索しましたが機会が得られませんでした。 一方、商用輸出については、輸出実績がない中、生産者で組織される松阪牛協議会において、海外輸出を協議する専門部会の設立準備が進められています。							
施策番号		施策名					
3 - ③		林業の振興					
評価指標①	指標名	林道(トロセ線)の延長(累計)					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	1,010 m	D		892 m	D
	実績	118 m	475 m			357 m	
	進捗度の評価						
林道トロセ線開設工事は道整備交付金事業(国庫補助)により進めてきました。毎年250m程度の開設延長を計画し国に要望をしていますが、毎年80m前後の採択となり、4年間の累計で357mの施工延長にとどまりました。早期完成に向け、更に三重県との調整を図っていきます。							

評価指標②	指標名	木材搬出用作業路の延長（累計）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	45,000	m	A	45,000	m	A
	実績	0	m	44,762		m	44,762	
	進捗度の評価							
木材搬出用作業道は、毎年約15,000mの開設を実施し、4年間の累計はほぼ計画通りとなりました。今後も林業事業体において効率的な森林施業の集約化を図り、集団間伐団地形成のため木材搬出用作業路への支援を継続させていきます。								
評価指標③	指標名	間伐による森林整備面積（累計）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	3,991	ha	B	3,200	ha	B
	実績	791	ha	3,144		ha	2,353	
	進捗度の評価							
木材価格の低迷により、林業事業体独自による間伐面積が伸びなかったことや、森林環境創造事業の補助枠が減少していることから、間伐による森林整備面積は目標値に達しませんでした。令和2年度からは森林環境譲与税の増額により、森林資源管理事業による環境林の間伐を実施し森林整備面積の拡大を図ります。								
評価指標④	指標名	未利用間伐材の木質バイオマス活用量						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	21,000	t	S	7,000	t	S
	実績	14,000	t	21,730		t	7,730	
	進捗度の評価							
未利用間伐材の木質バイオマス活用量は、目標以上となり森林資源の有効活用につながりました。今後も、松阪産材を木質エネルギーの原料として有効活用していくことで林業振興を図り、地域の活性化につなげていくため、運搬に対する支援を継続して行っています。								
評価指標⑤	指標名	主伐による木材生産量						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	31,000	m ³	B	10,000	m ³	D
	実績	21,000	m ³	24,880		m ³	3,880	
	進捗度の評価							
木材価格の低迷や林業従事者の不足などから、目標値には達しませんでした。今後は、市有林の伐採・造林（国補）のほか、経営計画に基づく伐採を森林組合とともに進め、主伐による木材生産量の拡大を図ります。								
施策番号		施策名						
3　－　④		水産業の振興						
評価指標①	指標名	アサリ漁獲量						
	年度	平成27年度(H26)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	300	t	E	266	t	E
	実績	34	t	0		t	-34	
	進捗度の評価							
平成31年2月にカイヤドリウミグモの寄生が確認された以後、アサリ漁を見合わせていることから、漁獲が無い状況が続いています。松阪漁協を中心として「覆砂」や「かぶせ網」などアサリ資源回復に向けた取組は継続して実施します。								

評価指標②	指標名	アオサ漁獲量					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	150	t	22	t	
	実績	128	t	129	t	1	
			B		E		
進捗度の評価							
三重県が全国一位の生産量を誇っており、その中でも松阪産のアオサは特に高い評価を得ており、市場でも高値で取引されています。漁獲量は目標値に達しませんでした。自然環境の変化など厳しい状況が続く中、漁獲量拡大に向け研究を行います。							
施策番号		施策名					
3 - ⑤		商工業の振興					
評価指標①	指標名	新規創業者・第二創業者相談件数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	100	件	29	件	
	実績	71	件	56	件	-15	件
			C		E		
進捗度の評価							
7つの創業支援機関が連携してサポートを行う「松阪商人サポート隊」により支援を行いました。相談件数自体は減少しましたが、「創業・再挑戦アシスト資金」の資金活用件数が、平成27年中の15件に比べ3倍になっており（R 1：48件）、着実に相談から起業へとつながっています。							
評価指標②	指標名	中小企業・小規模事業者の相談件数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	500	件	500	件	
	実績		件	681	件	681	件
			S		S		
進捗度の評価							
相談窓口である産業支援センターでは、先端設備等導入計画の認定に伴う相談が最も多く全体件数の約3割を占めています。（計画により導入した設備の固定資産税を3年間免除するもの。）次いで、産業支援センター事業の案内、国の補助金・助成金相談となっています。相談を通じて、企業の売り上げ増や課題解決などの結果が表れており、リピート率が高くなっています。							
施策番号		施策名					
3 - ⑥		企業誘致・連携の推進					
評価指標①	指標名	企業立地件数（累計）					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	12	件	9	件	
	実績	3	件	15	件	12	件
			S		S		
進捗度の評価							
企業動向の情報収集・市の企業立地にかかる情報発信やネットワークの構築等を目的に企業・団体への訪問等により企業立地に繋がりました。							

評価指標②	指標名	産学官金が連携した取組件数（累計）				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	20 件	S	15 件	S
	実績	5 件	40 件		35 件	
	進捗度の評価					
企業間連携による新製品・新サービスの開発や、販路拡大に向けたマッチングを支援することにより、連携した取り組みに繋がりました。						
施策番号		施策名				
3 - ⑦		観光・交流の推進				
評価指標①	指標名	観光入込客数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	3,000,000 人	A	276,029 人	E
	実績	2,723,971 人	2,752,253 人		28,282 人	
	進捗度の評価					
中心市街地の観光施設については、令和元年が平成27年対比165.1%となっており、観光客誘致の一定の成果が見られます。しかし、まつりや周辺部の観光施設等の入込客数が横ばいの状況が続いていることから、本市の自然や体験型観光のPRとともに、設定指標そのものについて、検討が必要あると考えます。						
施策番号		施策名				
3 - ⑧		地域ブランドの推進				
評価指標①	指標名	ふるさと応援寄付金の額				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	10 億円	S	8.71 億円	S
	実績	1.29 億円	11.71 億円		10.42 億円	
	進捗度の評価					
ふるさと応援寄附金制度の返礼品と申込サイトの拡充、PRなどにより、令和元年度は目標の10億円を上回る1,171,597,000円となりました。引き続き、返礼品の充実と効果的なPRを展開し新たな寄附金に繋がります。						
施策番号		施策名				
3 - ⑨		雇用・勤労者福祉の充実				
評価指標①	指標名	就労率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	57.1 %	A	1.0 %	E
	実績	56.1 %	55.7 %		-0.4 %	
	進捗度の評価					
緩やかな雇用・所得改善が続く中で、有効求人倍率も県を少し下回る水準で推移しており、就労率も平成27年度比でほぼ横ばいの結果となっています。就労率については、雇用状況を的確に示す指標ではありますが、国勢調査の職業等基本集計をベースに算出することから、各年度ごとの算出が難しく、各年度ごとに算出が可能な指標を設定する必要があります。						

評価指標②

指標名	障がい者雇用率				
年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
目標	-	2.00 %	A	0.32 %	A
実績	1.68 %	1.97 %		0.29 %	
進捗度の評価					
平成27年度比で着実に雇用率は伸びています。しかし、障がい者雇用率は、県下のハローワーク管内別においても最も低い結果となっています。市内企業のうち半数を超える約55%が法定雇用率（2.2%）を達成していますが、障がい者を1人も雇用していない事業所（0人雇用事業所）が他の管内に比べて多く、「0人雇用事業所の意識改革」に率先して取り組み、改善していく必要があります。					

評価指標③

	市の取組により増えた就労者数				
年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
目標	-	120 人	S	40 人	S
実績	80 人	209 人		129 人	
進捗度の評価					
潜在専門職（看護師、介護士、保育士）の復職等研修会、障がい者就職面接会、「就労の広場」の職業相談などの取組みにより、多くの方の市内就労につながりました。					

政策4 人も地域も頑張る力

施策番号		施策名									
4		—		①		住民協議会・市民活動の推進					
評価指標①	指標名		地区住民協議会の認知度								
	年度		平成27年度		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価				
	目標		-		45.0 %		S	20.3 %		S	
	実績		24.7 %		63.5 %			38.8 %			
	進捗度の評価										
	全市域に住民協議会が設立され、8年が経過しました。自主的な活動も進み、時間とともに関わりを持つ市民や団体も増えていることもあって目標は達成しました。今後、さらに市民の認知度を上げていくとともに、住民協議会の活動に関わりを持つ市民の数や地域課題の共有といった点が課題であります。										
評価指標②	指標名		地区住民協議会への参加率								
	年度		平成27年度		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価				
	目標		-		40.0 %		C	16.3 %		E	
	実績		23.7 %		21.7 %			-2.0 %			
	進捗度の評価										
	住民協議会への認知度は上がっている一方、参加率は伸びず目標は達成できませんでした。住民協議会の自主的な活動は進んでいますが、今後、活動をいかに市民へ周知していくか、いかに多くの市民を巻き込んでいくかということが課題であります。										

施策番号		施策名						
4　－　②		生涯学習の推進						
評価指標①	指標名	公民館における家庭教育講座の開設						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	250	講座	S	46	講座	S
	実績	204	講座	328		講座	124	
	進捗度の評価							
	公民館連絡協議会などの組織を通じて、目標達成のための協力依頼を行った結果目標達成に至ったと考えます。							
評価指標②	指標名	図書館利用者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	248,000	人	S	34,179	人	S
	実績	213,821	人	364,495		人	150,674	
	進捗度の評価							
	図書館については、松阪と嬉野に2か所あり、松阪図書館は平成29年度にリニューアル工事を行ったこともあり、利用者数も順調に伸びている状況であります。							
施策番号		施策名						
4　－　③		文化の振興						
評価指標①	指標名	旧長谷川邸入場者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	20,000	人	B	4,357	人	D
	実績	15,643	人	17,345		人	1,702	
	進捗度の評価							
	旧長谷川家は、令和元年度からの指定管理者制度導入に合わせて有料化（320円）したものの、企画展等を定期的に行う等効果的な活用に努めた結果、目標値を達成するまでに到りませんでした。昨年度より増加することができました。							
評価指標②	指標名	文化センター自主事業入場者率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	100	%	S	9.1	%	S
	実績	90.9	%	100		%	9.1	
	進捗度の評価							
	自主事業の入場率（入場者/目標入場者）は、達成することができました。							

施策番号		施策名						
4 - ④		人権の尊重						
評価指標①	指標名	人権講演会の参加者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	500	人	D	150	人	E
	実績	350	人	150		人	-200	
	進捗度の評価							
	講演会の開催年度によって、実績数値に差がみられました。参加者の人数だけをみて評価できるものではないと考えますが、数値目標からみますと実績評価は低いものとなっていますので、一人でも多くの方に人権問題について関心を持っていただき参加していただけるように努めなければなりません。今後も、正しい理解と認識を深めていただくため、更に啓発活動を実施していきます。							
評価指標②	指標名	人権講演会の参加者満足度（会場アンケート）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	A	3.6	%	E
	実績	91.4	%	88.8		%	-2.6	
	進捗度の評価							
	講演会を開催し、人権問題について考えていただく機会を提供することで人権意識の高揚を図っています。来場していただいた方に参加して良かったと思っていただけるように実施していますが、内容等にもより実績数値は増減しています。満足度だけでなく他のアンケート結果を参考にしながら、今後の実施内容を検討していきます。							
評価指標③	指標名	多言語による生活情報などの提供、窓口業務支援件数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	6,000	件	S	3,700	件	S
	実績	2,300	件	7,724		件	5,424	
	進捗度の評価							
	フィリピン語とポルトガル語の通訳者を配置し、外国人住民に対し母語等による生活情報などの提供・説明や各課において窓口業務の支援を行い住民サービスの充実を図ってきました。外国人住民も年々増加しており、目標件数を超えて支援することができました。今後の事業につきましては、支援件数等の状況をみながら対応していきたいと考えます。							
評価指標④	指標名	自殺者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	26	人以下	S	-17	人	S
	実績	43	人	26		人	-17	
	進捗度の評価							
	誰も自殺に追い込まれることのない松阪市の実現をめざし、関係各課や関係機関と連携しながら、数値目標を定めて取り組みを進めてきました。実績の数字だけをみると減少していますが、最終目標である自殺者ゼロをめざしていかなければなりません。今後も継続して自殺予防対策、いのちの大切さを認識していただくため予防啓発に努めていきます。							

施策番号		施策名						
4　－　⑤		男女共同参画の推進						
評価指標①	指標名	「男女共同参画」のことばの認知度						
	年度	平成27年度(H26)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	60.0	%	C	14.8	%	E
	実績	45.2	%	32.2		%	-13.0	
	進捗度の評価							
	性別にかかわらず個人として尊重され、ともに個性と能力を発揮し、よろこびも責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現を進めてきましたが、ことばの認知度としては目標を達成することができませんでした。しかし、家庭や地域など、さまざまな分野で男女共同参画への理解は深まっていると思われますので、ことばとしても「男女共同参画」を広めていきます。							
評価指標②	指標名	家事・育児・介護にかかわっている男性の割合						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	80.0	%	B	11.0	%	E
	実績	69.0	%	60.4		%	-8.6	
	進捗度の評価							
	平成26年度に実施した、男女共同参画に関する市民意識調査結果と比べると、実績数値は下がっています。数値の減少については、家事等へのかかわり方等への意識や求められるものが変化してきていることも影響していると考えられますが、めざす結果とはなりませんでした。男女共同参画社会づくりのため、各種事業を実施し更に啓発を図っていきます。							

政策5 安全・安心な生活

施策番号		施策名							
5　－　①		交通安全対策の充実							
評価指標①	指標名	交通事故死傷者数（1月～12月）							
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価			
	目標	-	770	人	S	-184	人	S	
	実績	954	人	334		人	-620		人
	進捗度の評価								
	交通安全啓発を目的としたイベントの開催や市民が集まる他のイベントでの交通安全啓発などを行うとともに、『四季の交通安全運動』などの地域や関係機関、関係団体、行政と一緒に なった交通安全啓発を展開しました。								
	また、「とまとーず」による交通安全教室の開催を中心とした交通安全教育事業を展開しま した。これら交通安全施策を継続的に実施してきたことや全国的な様々な取り組み等が進捗度 の結果に表れたものと考えます。								

評価指標②	指標名	交通マナーが悪いと感じる市民の割合						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	30.0	%	B	-6.9	%	E
	実績	36.9	%	41.6		%	4.7	
	進捗度の評価							
「交通マナーが悪いと感じる」市民の割合は増加となりましたが、この4年間にわたり市民を対象とした「交通安全啓発」や「交通安全教室」の開催等の交通安全対策により、交通事故件数、交通事故死傷者数の減少を見ることができました。 一方、これらの政策展開により市民一人ひとりが交通安全に関心を持ち、交通マナーに対する厳しい見方が培ったことで、この評価に繋がったものと考えます。								
評価指標③	指標名	交通安全サポート事業所の登録数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	70	事業所	D	54	事業所	D
	実績	16	事業所	33		事業所	17	
	進捗度の評価							
「交通安全サポート事業所」への登録事業所数については、4年間をかけ登録事業所の増加に向け、勧誘に努めましたが、結果的には33事業所に留まり目標に達することができませんでした。 しかし、各事業所の活動内容については、事業所においての「とまとーず」の交通安全教室の開催、自らの交通安全街頭啓発の実施など各事業所の努力により充実した交通安全活動を実施していただきました。								
施策番号		施策名						
5 - ②		消費者対策の充実						
評価指標①	指標名	消費生活に関する出前講座参加者数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	1,000	人	D	500	人	E
	実績	500	人	419		人	-81	
	進捗度の評価							
平成28年度以降、年間約400人で推移しています。「悪質商法への対応」をテーマに講座を実施していますが、地域包括支援センターと連携して高齢者に重点を置いた啓発も実施しており、啓発の方法が他の機関と連携したより実効性のあるものへと広がりつつあります。毎年度、地域の老人クラブ、自治会等からのニーズも一定数あることから、引き続き積極的に取り組んでいきます。								
評価指標②	指標名	消費生活相談窓口の認知度						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	50.0	%	S	16.2	%	S
	実績	33.8	%	50.5		%	16.7	
	進捗度の評価							
消費生活相談窓口の認知度は着実に向上しています。それに合わせて、相談件数も平成27年度の499件から令和元年度は1,266件と2.5倍になっています。消費生活相談員が相談内容にあわせた情報提供や助言を行うとともに、適切な専門機関へつなぐことにより、複雑化・巧妙化する消費者トラブルを解決に導いています。								

施策番号		施策名						
5 - ③		防犯対策の充実						
評価指標①	指標名	刑法犯認知件数（自転車盗）（1月～12月）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	180 件	S	-49 件	S		
	実績	229 件	165 件		-64 件			
	進捗度の評価							
	自治会等を対象とした「防犯教室」の出前講座による啓発や防犯を目的とした啓発イベントの開催などの啓発事業を展開しました。							
	また、地域、事業者、関係団体、行政などによる防犯対策のための組織化とその組織を活用しての広範囲且つ連携した啓発事業の展開とともに全国的な様々な啓発や取り組み等の相乗効果が進捗度の結果に表れたものと考えます。							
	評価指標②	指標名	特殊詐欺件数(1月～12月)					
		年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
		目標	-	10 件	S	-7 件	S	
実績		17 件	7 件	-10 件				
進捗度の評価								
自治会等を対象とした「防犯教室」や啓発イベントでの『特殊詐欺』防止の啓発を行うなどの啓発事業を展開しました。								
また、警察などの関係団体と協力しながら『特殊詐欺』防止に特化した街頭啓発など広範囲且つ連携した啓発事業の展開とともに全国的な様々な啓発や取り組み等の相乗効果が進捗度の結果に表れたものと考えます。								
評価指標③		指標名	自主防犯パトロール団体数					
		年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
		目標	-	44 団体	A	6 団体	C	
	実績	38 団体	42 団体	4 団体				
	進捗度の評価							
	「自主防犯パトロール団体」への支援や松阪地区生活安全協会などの関係団体との連携により「自主防犯パトロール団体」については、4年間に於いて4団体の増加となりました。目標の46団体に達することはできませんでしたが、地域に根差した「自主防犯パトロール団体」の活動もあり、市内における刑法犯認知件数はこの4年間に於いて減少を見ることができました。							
	施策番号		施策名					
	5 - ④		防災・危機管理対策の充実					
	評価指標①	指標名	災害に対する備えをしている市民の割合					
		年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
目標		-	50.0 %	B	21.5 %	C		
実績		28.5 %	41.4 %		12.9 %			
進捗度の評価								
防災対策への市民意識の重要度は高く、そのような中、市民一人ひとりの防災意識を高めるため、令和元年度においては年間100回を超える地域での出前講座や防災訓練等を実施し、防災啓発や自主防災・地域防災体制の強化に取り組んできたところです。								
しかしながら、4年間としては大きく数値を向上することはできませんでしたが、目標数値には至らなかったことから、引き続き啓発活動、地域の防災体制充実に向けた支援を行います。								

評価指標②	指標名	木造住宅耐震診断の受診件数（累計）					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	2,982 件	S		1,000 件	S
	実績	1,982 件	3,332 件			1,350 件	
	進捗度の評価						
各種イベント、啓発チラシ、出前講座などの機会を活用し、住民協議会や自治会を中心に働きかけを行うとともに、三重県木造住宅耐震促進協議会等と協働し、昭和56年以前の住宅団地等の戸別訪問等に重点を置いた「ローラー作戦」にも取り組んできました。 その結果、平成29年度からは除却工事も補助対象となったことも加わり、耐震診断の受診件数が目標を大きく上回り、震災時における倒壊家屋の減少や人的被害の防止など、被害低減を図ることができました。今後もあらゆる機会を通じ啓発活動に取り組みます。							
評価指標③	指標名	市の防災対策への市民満足度					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	3.00 /5	A		0.28 /5	D
	実績	2.72 /5	2.82 /5			0.10 /5	
	進捗度の評価						
地震や台風などの災害に強いまちづくりの政策に対して、依然として市民意識の重要度は高いものの、満足度においては目標とした数値を達成することができませんでした。今後も引き続き防災訓練等を通じて関係機関と連携するとともに、避難所の確保や備蓄品の整備、感染症対策に必要なマスク、アルコール消毒液等の追加など、災害が発生した際の被災者等への支援体制の構築を進めます。							
施策番号		施策名					
5 - ⑤		消防団の充実					
評価指標①	指標名	耐震性貯水槽の設置数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	157 基	S		16 基	S
	実績	141 基	157 基			16 基	
	進捗度の評価						
実施計画に基づき、計画どおりに進捗することができました。							
評価指標②	指標名	消防団協力事業所の認定数					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	31 事業所	A		8 事業所	B
	実績	23 事業所	30 事業所			7 事業所	
	進捗度の評価						
目標達成に向け、引き続き事業所に協力を求めます。							

施策番号		施策名						
5		⑥ 浸水対策の充実						
評価指標①	指標名	河川改修（九手川・中川）の整備延長						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	1,430	m	A	332	m	A
	実績	1,098	m	1,408		m	310	
	進捗度の評価							
	洪水による浸水被害の軽減を図ることを目的に、主要な2河川の整備延長を目標値としています。この4年間の実績は、国からの交付金決定の影響により、若干目標値を下回る結果となりましたが、準用河川中川河川改修事業の完了により、近年、中川の急激な水位上昇は見受けられなくなりました。							
評価指標②	指標名	雨水排水施設（宮町・沖ス・大口ポンプ場）事業進捗率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	60.0	%	A	28.0	%	B
	実績	32.0	%	56.0		%	24.0	
	進捗度の評価							
	雨水排水施設の整備は、平成29年度の計画見直し（沖スポンプ場ストックマネジメント事業の実施時期の延伸）により、目標値が60.0%から56%になりますので、計画見直し後の実績においては計画通りの達成となります。4年間の増減・進捗評価につきましても、平成29年度の計画見直しに伴うもので、目標値が28%から24%となりますので、計画見直し後の実績においては計画通りの達成となります。引き続き事業の進捗に努めてまいります。							
大口ポンプ場増設（H29完成）、沖スポンプ場増設（H29～R5）、宮町ポンプ場ストックマネジメント事業（H27～R4）、沖スポンプ場ストックマネジメント事業（R4～）								

政策6 快適な生活

施策番号		施策名					
6　－　①		自然と生活の環境保全					
評価指標 ①	指標名	1人1日当たりのエネルギー（電気）消費量					
	年度	平成27年度(H26)	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	6.17	kWh	-	-	kWh
	実績	6.17	kWh	-		kWh	-
	進捗度の評価						
	平成28年度から当評価指標の算出が不可能になったため、令和2年度を初年度とする新総合計画において指標の見直しを行います。						

評価指標②	指標名	生活排水処理施設整備率					
	年度	平成27年度(H26)		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-		87.9 %	S	6.3 %	S
	実績	81.6 %		88.7 %		7.1 %	
	進捗度の評価						
数値目標における関連計画である松阪市生活排水処理基本計画で示された生活排水処理施設整備率において、公共下水道人口の増加とともに、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換によって水洗化・生活雑排水処理人口の増加が進んだことなどから、実績値が目標値を超える事になりました。							
施策番号		施策名					
6 - ②		資源循環型社会の推進					
評価指標①	指標名	1人1日当たりのごみの排出量（集団回収を除く）					
	年度	平成27年度		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-		890 g	A	-19 g	E
	実績	909 g		935 g		26 g	
	進捗度の評価						
目標値を年々厳しくしているにも関わらず、ごみ量は増加傾向にあります。特に、令和元年度は災害廃棄物がなかったにも関わらず、災害廃棄物のあった平成30年度と比較し増加している点は、評価がAとなっているものの改善の必要があります。主な増加の要因としては、事業系ごみの増加が顕著であり、啓発の方法として各事業所における分別の徹底や、産業廃棄物と一般廃棄物の厳密化を図ることが効果的であると考えます。							
評価指標②	指標名	廃棄物（ごみ）対策の整備に満足している人の割合					
	年度	平成27年度		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-		28.0 %	B	1.4 %	E
	実績	26.6 %		22.7 %		-3.9 %	
	進捗度の評価						
令和2年2月に実施した3,000人アンケートの数値ですが、この内訳として満足以外では、ふつうが60.4%、不満およびやや不満が10.7%、無回答が6.2%となっています。この結果を見る限り、悲観的なものではないと考えますが、前回実施時と比較して下がっている点は改善に向けた取り組みを強化する必要があると考えます。廃棄物対策の満足度を上げていくためには、通常の収集業務に加え、新たなサービスの展開が必要であると考えます。							
評価指標③	指標名	啓発講座開催数					
	年度	平成27年度		令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-		30 回	S	14 回	S
	実績	16 回		30 回		14 回	
	進捗度の評価						
啓発講座の実施回数は目標値を達成しています。これは、小学校を中心とした環境学習が安定化してきたものと考えます。ごみの減量及び3Rの推進には市民一人ひとりの意識改善が重要となり、子どもたちに対する啓発強化は効果的であり、今後とも力を入れていきたいと考えます。また、外国人の増加に伴い、ごみ出しルールなどの講座依頼も徐々に活発化しており、更なる分別の徹底に向け、積極的な外国人に対する啓発にも取り組みたいと考えます。							

施策番号		施策名				
6 - ③		地域公共交通の充実				
評価指標①	指標名	コミュニティバス年間利用者数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	187,000 人	B	7,068 人	E
	実績	179,932 人	163,087 人		-16,845 人	
	進捗度の評価					
	移動手段としてのニーズは高くなってきていますが、実際には利用者数は増加していません。 令和元年度には、新規路線（幸中央線）の運行を開始しましたが、運賃の値上げ（100円⇒200円）を行ったことや高校等の休校により3月の定期利用者の減少等が影響しています。路線があるだけでなく利用促進のために地域（市民）との協働をより一層進めていく必要があります。					
評価指標②	公共交通の整備に対する市民満足度					
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	3.10 /5	B	0.75 /5	E
	実績	2.35 /5	2.39 /5		0.04 /5	
	進捗度の評価					
	特に鈴の音バスについては、平成28年度 I C カードシステム導入や、令和元年度には新規路線（幸中央線）の運行やダイヤ改正における増便があり、市民満足度の向上につながったものと推測されます。しかしながら、コミュニティ交通全体として、必ずしも利用者の実情にあった運行形態になっていない地域があることから、地域住民を主体としたより効率的な運行の検討を行っていく必要があります。					
施策番号		施策名				
6 - ④		まちづくりの推進				
評価指標①	指標名	“豪商のまち松阪”活き生きプランにもとづく事業の完了				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	3 項目	S	1 項目	S
	実績	2 項目	3 項目		1 項目	
	進捗度の評価					
	豪商のまち松阪活き生きプランは、ハード、ソフトの様々な取り組みを行うアクションプランとして平成25年度から令和元年度末までを目標年次として行ってきました。旧長谷川治郎兵衛家への改称と指定管理者制度を導入した一般公開の実施、路上喫煙禁止区域の認知向上を行い目標年次を迎え完了いたしました。					
施策番号		施策名				
6 - ⑤		景観の保全				
評価指標①	指標名	景観重点地区の指定数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	4 地区	B	1 地区	E
	実績	3 地区	3 地区		0 地区	
	進捗度の評価					
	景観重点地区の候補地区において、4地区の重点地区指定には及ばなかったが、「自治会・まちなみ保存委員会」などに参画し、今後も、重点地区指定に向けた取り組みを進めていきます。					

施策番号		施策名						
6　－　⑥		道路・公園の整備						
評価指標 ①	指標名	都市計画道路の整備率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	46.8	%	S	0.5	%	
	実績	46.3	%	46.8		%	0.5	%
	進捗度の評価						S	
	平成14年度、三重県が事業着手した鎌田踏切アンダーパスを含む「都市計画道路松阪公園大口線他1線」の街路事業が完了し、都市計画道路の整備率は目標値の46.8%に達しました。							
評価指標 ②	指標名	橋梁耐震補強の整備数						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	46	橋	B	9	橋	
	実績	37	橋	41		橋	4	橋
	進捗度の評価						D	
	橋梁の耐震補強は、限られた交付金枠内での整備に限定し、実施事業費が計画事業費を超える場合は、やむを得ず実施年度を延伸するなどの事由から、目標とする整備橋梁数には及ばなかった。緊急輸送路、避難路となる橋梁は、大規模地震等の発生から人命・財産を守る重要な道路の一部であるため、今後も優先的且つ継続した整備が必要となります。							
評価指標 ③	指標名	1人当たりの都市公園面積						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	12	m ²	B	2.32	m ²	
	実績	9.68	m ²	10.15		m ²	0.47	m ²
	進捗度の評価						E	
	松阪市総合運動公園の事業完了年度を延伸したことにより、公園整備面積は目標値に達しませんでした。しかしながら、平成31年4月にオープンした松阪市総合運動公園スケートパークは、利用者ニーズを適格に捉えた施設として県内外から多くの来園者で賑わっており、評価以上の良い成果が得られていることから、今後も公園整備を進めてまいります。							
施策番号		施策名						
6　－　⑦		上下水道の整備						
評価指標 ①	指標名	基幹管路の耐震適合率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	37.0	%	S	7.7	%	
	実績	29.3	%	37.2		%	7.9	%
	進捗度の評価						S	
	事業は計画通り進捗しています。令和2年度以降は、「松阪市水道事業基本計画」に基づき、基幹管路の耐震化を進めて行きます。							
評価指標 ②	指標名	下水道普及率						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	58.0	%	S	6.0	%	
	実績	52.0	%	58.2		%	6.2	%
	進捗度の評価						S	
	事業は計画通り進捗しています。令和2年度以降は、整備計画に基づき、管渠整備を進めて行きます。							

評価指標③	指標名	水洗化率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	80.0 %	A	2.2 %	B
	実績	77.8 %	79.4 %		1.6 %	
	進捗度の評価					
平成28年3月までに供用開始した地域には、例年より多く新興住宅が含まれていたことから、前年度より接続件数が大幅に落ち込み、目標値を下回りました。						
評価指標④	指標名	上水道の整備に対する市民満足度				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	3.60 /5	S	0.10 /5	S
	実績	3.50 /5	3.60 /5		0.10 /5	
	進捗度の評価					
松阪市市民意識調査の結果、平成27年度3.50⇒平成29年度3.54⇒令和元年度3.60となり、目標値3.60をクリアしました。今後も事業コストの縮減を図りながら、水道利用者のニーズを把握しお客様サービスの向上に努めていきます。						
施策番号		施策名				
6 - ⑧		中山間地域の振興				
評価指標①	指標名	空き家バンク利用登録件数(累計)				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	200 件	S	114 件	S
	実績	86 件	285 件		199 件	
	進捗度の評価					
田舎暮らし体験イベントなど様々な機会を通じて空家バンク制度をはじめ移住促進のための情報発信を行い、大幅に目標を上回る利用者登録につなげることができました。現在、働く場所を問わないテレワークが推進されるなど、働き方が大きく変わりつつあり、都市部では田舎暮らしを希望する人も増えていることから、目的やターゲットを絞った情報発信の充実、また、地域との協働の推進、物件の確保が課題です。						
評価指標②	指標名	空き家バンク物件登録軒数(累計)				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	50 軒	S	22 軒	S
	実績	28 軒	88 軒		60 軒	
	進捗度の評価					
空家バンク制度を運用し6年が経過し、地域の理解や協力もあって目標を上回る物件が確保でき、契約に結び付けることができました。空家所有者の事情で登録に至らない場合もありますが、今後、登録件数を増やしていくためには個々の事情をいかに解決していくかが課題であります。						

評価指標③

指標名	観光施設の宿泊者数（飯南・飯高管内）				
年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
目標	-	13,000 人	S	2,481 人	S
実績	10,519 人	17,128 人		6,609 人	
進捗度の評価					
地域資源を活用した取り組みや情報発信を通じて誘客を図ったことで、宿泊者数の増加につながり、目標を達成することができました。新たな感染症の拡大に伴い、ソーシャルディスタンスの重要性が叫ばれる今、自然豊かで広々とした空間でゆったりと過ごすことができる地域の良さや楽しみ方など、様々な地域情報の発信の充実と地域資源の活用が課題です。					

政策7 市民のための市役所

施策番号		施策名						
7 - ①		計画的な行政経営						
評価指標①	指標名	総合計画の認知度						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	50.0	%	E	20.0	%	E
	実績	30.0	%	13.8		%	-16.2	
	進捗度の評価							
	総合計画の認知度が上がらなかったが、本来は認知度より進捗度によることが重要であることから、次回からは「総合計画の進捗度」に指標を変更するとともに、次期総合計画においては、より精度の高い数値目標の設定をし策定を行います。							
評価指標②	指標名	人事評価制度効果度（制度導入による仕事への影響度合い）						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	95.0	%	A	3.9	%	E
	実績	91.1	%	89.4		%	-1.7	
	進捗度の評価							
	人事評価制度の導入後、制度の周知を図るために人事評価支援研修を実施してきた。研修後のアンケートでは、毎年ほぼ90%以上の職員に理解を得ているが、今年度は90%を若干下回る結果となった。職員への理解度は目標の95%には届いていないが、概ね理解したうえで人事評価を実行していることから、賃金への反映を課長級まで引き下げ、将来的には全職員に反映するよう理解度を高めていきたい。							
施策番号		施策名						
7 - ②		市民との情報共有						
評価指標①	指標名	市の情報公開・情報提供に対し不満と感ずる市民の割合						
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価			4年間の増減・進捗評価		
	目標	-	10.0	%	B	-6.8	%	C
	実績	16.8	%	12.5		%	-4.3	
	進捗度の評価							
	総務課の所管する、情報公開については、松阪市情報公開条例に基づく公文書公開請求等に対して、市の保有する公文書を公開するという制度です。情報公開窓口では、市民の皆さんの市の事務事業に関する疑問、興味を発端とする情報取得の要望等に対し、各担当が行う説明場を取り次ぎ、或いは設定するなど積極的な情報提供を進めつつ、公文書公開請求にあっては、適正な開示の実施を促しており、結果として市の情報公開における満足度の向上につながったものと思われます。							

評価指標②	指標名	市ホームページにおける月平均閲覧数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	100,000 件	S	22,500 件	S
	実績	77,500 件	181,892 件		104,392 件	
	進捗度の評価					
市ホームページにおける月平均閲覧数については、毎年セッション数は増加傾向にあり、当該指標については目標に達しているため、次期総合計画では新たな指標を設定します。						
評価指標③	指標名	出前講座参加者数				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	8,300 人	S	263 人	S
	実績	8,037 人	8,956 人		919 人	
	進捗度の評価					
出前講座においては、開催回数、参加者数ともに年々増加傾向にあるため、引き続き S 評価を維持できるよう取り組みを続けます。						
施策番号		施策名				
7 - ③		健全な財政運営				
評価指標①	指標名	公共施設(建物)の延床面積削減率				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	8.00 %	D	8.00 %	D
	実績	- %	3.55 %		3.55 %	
	進捗度の評価					
今後40 年間の更新費用の推計から『公共施設等総合管理計画』においてこの4年間の施設面積削減率を 8 % (約5万㎡) と掲げていましたが、市民ニーズを踏まえると現実的でないことから、数値目標を総面積の削減からトータルコスト削減へ見直す方向で整理しました。						
評価指標②	指標名	ふるさと応援寄付金の額				
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価	
	目標	-	10 億円	S	8.71 億円	S
	実績	1.29 億円	11.71 億円		10.42 億円	
	進捗度の評価					
ふるさと応援寄附金制度の返礼品と申込サイトの拡充、PRなどにより、令和元年度は目標の10億円を上回る1,171,597,000円となりました。引き続き、返礼品の充実と効果的な P Rを展開し新たな寄附金に繋がります。						